



## 新春のお喜びを申し上げます。

2017年もいっそうのご支援をよろしくお願いいたします。

赤磐市市議会議員 福木京子

2016年12月議会が、11月25日から12月16日まで開かれ、主なことを報告します。

## 赤磐市相談支援センター（仮称）設置、予算化！

相談支援センターとは？（平成29年4月1日設置予定）

### （1）目的

「子育てするなら赤磐市」のキャッチフレーズのもと、市の利点を活かし、子育て環境の整備や子育て支援施策を一体的に展開することで、安心して子育てできるまちづくりを目指す。各種相談をワンストップで受けることのできる赤磐市相談支援センター（仮称）を設置し、効率的かつ効果的な市民サービスを提供する。

### （2）センターの機能及び職員体制（予定）

#### 「子育て世代包括支援センター」 職員6名

- ・妊娠期から子育て期にわたるまで、・・・必要な情報を共有して、切れ目なく支援する。
- ・ワンストップ相談窓口において、・・・きめ細かく支援する。
- ・地域の様々な関係機関とのネットワークを構築し、必要に応じ社会資源の開発等行う。

#### 「障害者基幹相談支援センター」 職員4名

- ・総合相談・専門相談
- ・権利擁護・虐待防止
- ・地域の相談支援体制の強化の取組
- ・地域移行・地域定着

### （3）設置時期及び場所 平成29年4月1日（予定）

市役所1階の赤磐市社会福祉事務所（社会福祉課、子育て支援課）に併設。

### （4）子育て支援施策の拡充、新規展開（現在検討中）

- ・子育て支援センター開所日の拡大
- ・緊急一時預かり事業
- ・産後ヘルパー事業

以上の計画ですが、12月議会の補正予算として、開設費用は、子育て支援課でパソコン、文書保管庫などに83万7000円。管財課で執務室の改修費用などに288万6000円が計上され可決されました。

(各委員長報告より)

## 旧赤磐市民病院再利用事業者選定支援業務

(2484万円) について



- 委員質疑** 旧市民病院の建物をどうするのか、
- 執行部答弁** 耐震診断の結果は、ある程度補強すれば使えるという結果が出ている。今ある建物の一部を使うか、改築して使うか、新築するかというのは、今後、介護保険事業者との協議の中で、費用対効果も考えながら決定していく。
- 委員質疑** 選定支援業務が平成30年3月までとなっており、それから施設の改修や新築にとりかかるのであれば、施設の利用開始はさらにその先になってしまう。この委員会でも出来るだけ早く利用開始が出来るように要望してきた。今までどのように考えてやってきたのか。
- 執行部答弁** 住民アンケートでも早期の利用開始を求める意見があった。現在の案では、12年間程度の事業運営を考えており、良い運営事業者を決めることがポイントになると考えている。中身を見直し半年短縮して、平成31年4月開始を目指していく。

## 岡山東農業協同組合から10人乗りワゴン車の寄付を受ける(60万円)

- 執行部説明** 農協の共済連の地域貢献事業で、市北部地域において、通院等交通に困っている人が多いという判断から、市に対して車の寄付を行う。
- 委員質疑** 現在運行しているバスとの問題点はないのか
- 執行部答弁** 吉井地域のデマンドバス、赤坂地域の市民バスの運行日以外の運行であり、重複はない。
- 委員質疑** 今回の市民バス運行は、市民の意見を調査するということか。
- 執行部答弁** 意見を基に新しい再編計画等に活かしていきたい。

## 吉井川流域広域観光連携事業について(交付金が265万円で、市費は265万円)

- 委員質疑** 片鉄ロマン街道サイクリングロードの整備で、休憩所を整備するとのことだが、全体的にはどのような形になるのか。
- 執行部答弁** サイクリングロードは、旧片上鉄道の片上から柵原までである。その中の市内にある休憩所施設、案内看板を整備して、利用者の利便を図り、市内に滞在してもらうことを目的に事業計画している。サイクリングロードは和気町がかなりの距離を持っているため、和気町と整合性を図りながら整備していく。

## 福木議員の一般質問



### ① 山陽団地の活性化にプロジェクトチームを作って進めよ

**質問** 前回の選挙戦後、山陽団地連合会の代表や有志が、住民代表や専門家を入れたプロジェクトチームを作って、一日も早く山陽団地の再生に取りかかってほしいと要望し、切実な声を届けている。山陽団地の議員全員がこの問題を取り上げ、いろんな提案もしてきたが前に進んでいない。(平成 28、10、1 現在、山陽団地は 5140 人、2350 世帯)

#### 本部会議体制を構築して取り組む

**市長答弁** 山陽団地は約 50 年経過し、県営住宅、道路等の老朽化、高齢化が顕在化しており、団地の活性化は最重要課題である。市若手職員で検討を開始している。私をトップとする本部会議体制を構築し、市を挙げて活性化に取り組んでいく。

### ② 高校の遠距離通学への補助制度の創設を

**質問** この問題では何回も質問している。10月の県知事選挙の候補者であった植本氏の公約にもなっている。それだけ県内で要望が強いという現れである。早急に実施すべきだ。

#### 早急に取り組みを進める

**市長答弁** 通学費の負担軽減は、子育て支援や定住促進などの施策の大きな柱として、市として出来る限り早急に取り組みを進めていく。その中で県への要望についても、県との役割分担があれば検討していく。

### ③ 熊山・吉井地域の診療所を有床の診療所に

**質問** 市民病院がなくなり、現在熊山診療所は無床診療所となっている。住民は切実にベッドのある診療所を望んでいる。医師や看護師の確保に力を入れて、熊山・吉井地域の診療所にベッドのある有床診療所にするよう県や国に要望し、実施していただきたい。

#### 県の医療計画等の会議で要望している

**市長答弁** 有床診療所にするためには、医師や看護師の確保は必要不可欠である。県の医療計画等の会議に参加し要望している。赤磐医師会とも連携し、協議を行っている。

# 「地域の実情に応じた医療提供体制の確保を求める」請願書

請願者 岡山県医療労働組合連合会 執行委員長 山本鈴子  
紹介議員 福木京子



**請願趣旨** 政府の「医療・介護情報の活用による改革の推進に関する専門調査会」は、2025年の必要病床数を115～119万程度と推計。既存の病床数と比較すると15～19万床少なく、2025年までに大幅な削減が求められることになる。岡山県の医療構想では、20174床と推計し、既存の病床数と比較すると4046床（16、7%）もの削減になる。・・・  
一方、・・・地域の医療ニーズに十分応じることが出来なくなるばかりでなく、・・・地域の医療提供体制を崩壊させることになりかねません。・・・

**請願項目** 都道府県が策定した地域医療構想が、地域の実情に応じた内容となるよう、国は推定方式の抜本的な見直しを行うこと。

**\* 全員賛成で可決、意見書を関係大臣に送付することになりました。**

---

## 年金の毎月支給を求める請願

請願者 全日本年金者組合岡山県本部赤磐支部委員長 河重正昭  
紹介議員 丸山明 保田守 福木京子

**請願趣旨** 高齢者にとって年金は生活費の柱です。多くの支払いは月単位です。しかし、年金は2ヶ月に一回（2月・3月の年金が4月に支払われる）のため、「年金振込日の直前は食べるものにも窮することがある」「薬が切れそうになったが病院に行こうにも行けない」・・・などと訴える人が多く、「毎月支給」は4000万人年金受給者の切なる要求となっています。・・・主要国の年金支給は、毎月支給（フランス・スイス・カナダなど）か週支給（イギリス）があたり前となっています。また、後払いされた年金から天引きされる介護保険料や国民健康保険料は「先取り」されていて、日本の2ヶ月に1回・後払いは異常です。・・・

**請願項目** 年金の隔月支給を国際水準並みに毎月支給に改めること。

**\* 全員賛成で可決、意見書を関係大臣に送付することになりました。**